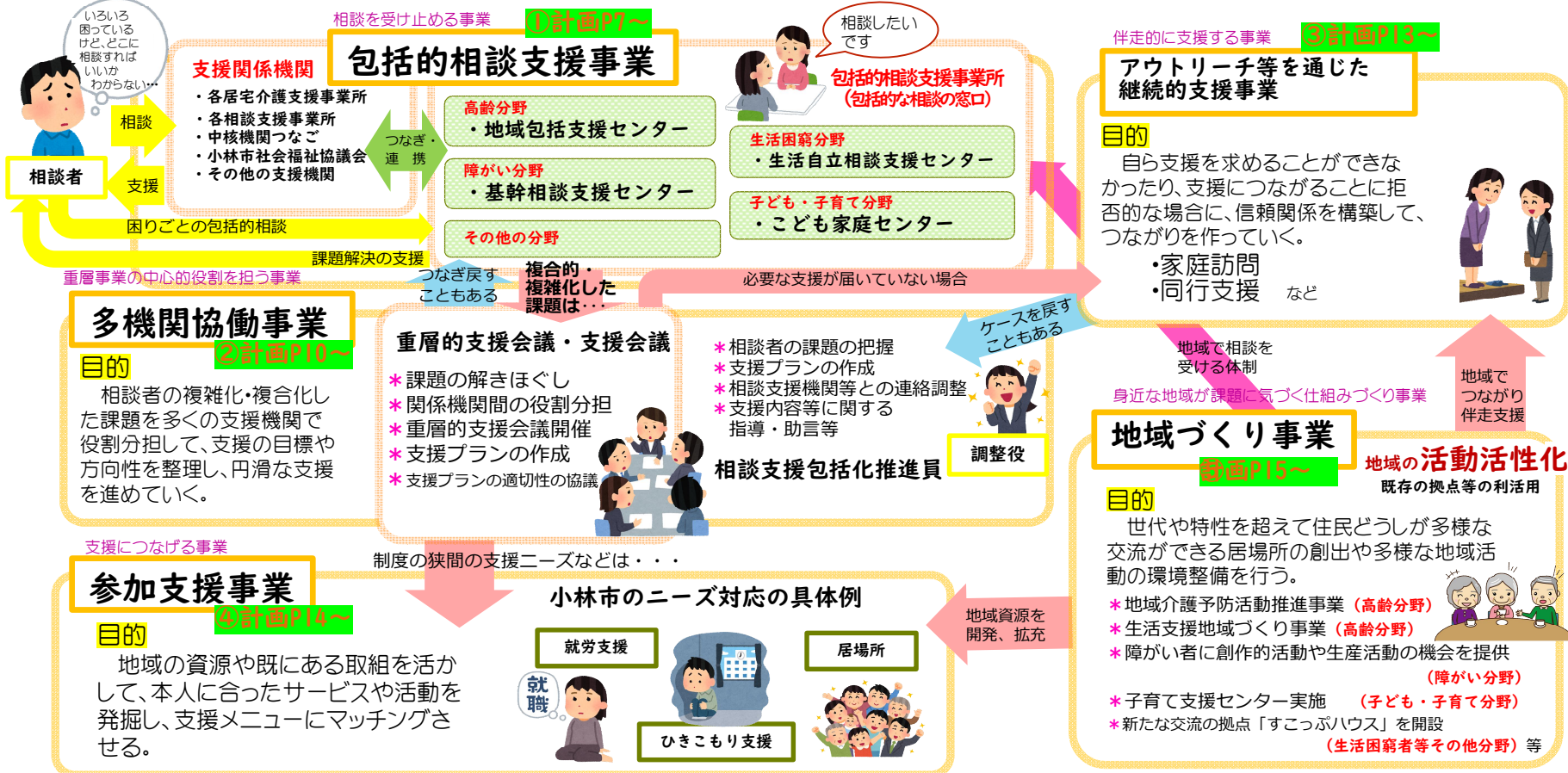


地域・制度・社会からだれも取りこぼさない みんなをすくいあげることを目指して



いるいる困っているけど、どこに相談すればいいかわからない...

相談者

相談

支援

困りごとの包括的相談

相談を受け止める事業 ①計画P7~

## 包括的相談支援事業

支援関係機関

- 各居宅介護支援事業所
- 各相談支援事業所
- 中核機関つなご
- 小林市社会福祉協議会
- その他の支援機関

つなご・連携

高年齢分野

- 地域包括支援センター

障がい分野

- 基幹相談支援センター

その他の分野

生活困窮分野

- 生活自立相談支援センター

子ども・子育て分野

- こども家庭センター

包括的相談支援事業所 (包括的な相談の窓口)

相談したいです

伴走的に支援する事業 ③計画P13~

## アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

目的

自ら支援を求めることができなかったり、支援につながることに拒否的な場合に、信頼関係を構築して、つながりを作っていく。

- 家庭訪問
- 同行支援 など

地域で相談を受ける体制

身近な地域が課題に気づく仕組みづくり事業

地域でつながり伴走支援

課題解決の支援 重層事業の中心的役割を担う事業

## 多機関協働事業

②計画P10~

目的

相談者の複雑化・複合化した課題を多くの支援機関で役割分担して、支援の目標や方向性を整理し、円滑な支援を進めていく。

重層的支援会議・支援会議

- 課題の解きほぐし
- 関係機関間の役割分担
- 重層的支援会議開催
- 支援プランの作成
- 支援プランの適切性の協議

相談支援包括化推進員

調整役

- 相談者の課題の把握
- 支援プランの作成
- 相談支援機関等との連絡調整
- 支援内容等に関する指導・助言等

必要な支援が届いていない場合

ケースに戻すこともある

支援につなげる事業

## 参加支援事業

④計画P14~

目的

地域の資源や既にある取組を活かして、本人に合ったサービスや活動を発掘し、支援メニューにマッチングさせる。

制度の狭間の支援ニーズなどは...

### 小林市のニーズ対応の具体例

- 就労支援
- 居場所
- ひきこもり支援

地域資源を開発、拡充

⑤計画P15~

## 地域づくり事業

地域の活動活性化

既存の拠点等の利活用

目的

世代や特性を超えて住民どうしが多様な交流ができる居場所の創出や多様な地域活動の環境整備を行う。

- 地域介護予防活動推進事業 (高齢分野)
- 生活支援地域づくり事業 (高齢分野)
- 障がい者に創作的活動や生産活動の機会を提供 (障がい分野)
- 子育て支援センター実施 (子ども・子育て分野)
- 新たな交流の拠点「すこっぷハウス」を開設 (生活困窮者等その他分野) 等